

AI Agent開発

株式会社テッキーズポッド
田中 聡

2026/6/22

直近のトピック（On Device AIの始まり）

▶ Google の発表（5月）

- ✓ GoogleはGooglebookを発表。
 - ✓ GoogleはOSを再定義し直し、AndroidとGeminiを組み合わせたオペレーティング・システム」から「インテリジェント・システム」に変更します。
- ▶ Gemma 4 は Gemini 3と同じ技術をApache 2.0ライセンスで提供

▶ Apple の発表（6月）

- ▶ Gemini ベースの Siri AI と Apple Intelligence
- ▶ Apple Deviceで稼働する AIモデルとCore AIフレームワーク

“エージェント”を実現するための
環境の話題になってきています

検索からエージェントへ

- ▶ 検索が変わってきていませんか？
 - ▶ 「〇〇から〇〇への旅行プランを作って」
 - ▶ 「子連れ向けのホテルとレストランを予約可能な状態にして」と検索する
- ▶ PCなどのデバイスに常駐する“イルカ”の進化
 - ▶ ブラウザやアプリでやろうとすることを、補完してくれる。
- ▶ Antigravityも並列・協調開発可能に

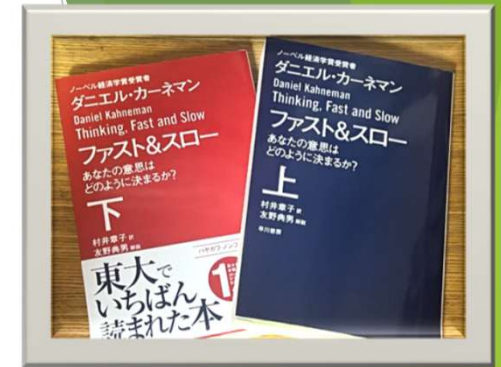
今日は AIエージェントを作る話

System1（帰納法）/System2（演繹法）

帰納法は**非決定論的**

演繹法は**決定論的**

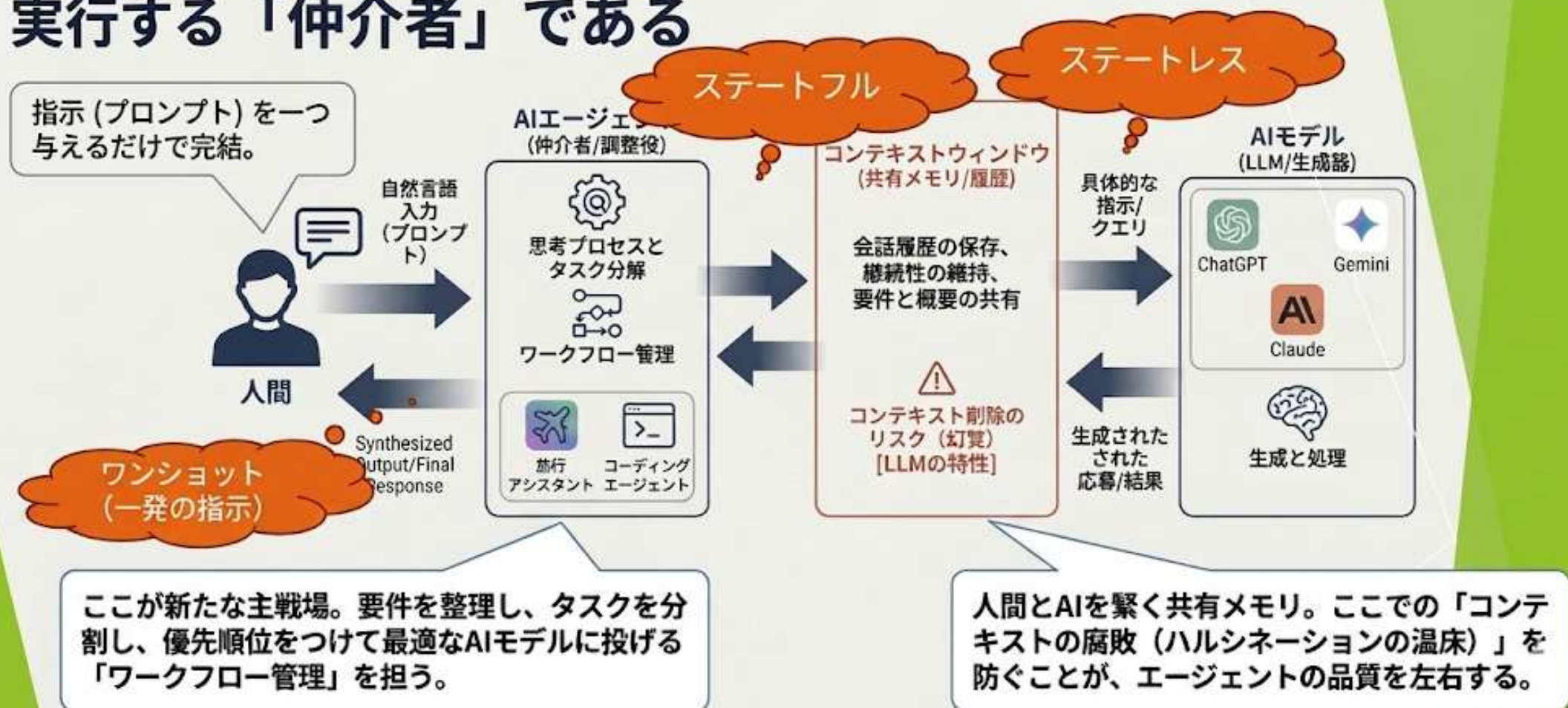
- ▶ ダニエル・カーネマンは、ノーベル経済学賞を受賞した認知心理学者。
 - ▶ System1（直感的・高速）→ハルシネーションが多い
 - ▶ System2（論理的・遅い）→DeepSeekのReasoningモデル
- ▶ システム1が困難に遭遇すると、システム2が応援に駆け出され、問題解決に役立つ緻密で的確な処理を行う。システム2が動員されるのは、システム1では答を出せないような問題が発生したときである。



System2で自律エージェントが可能に

Section 2: The Mechanics

エージェントは「モデル」ではなく、自律的にタスクを分解し実行する「仲介者」である



AI開発におけるハーネス

- ▶ ハーネスは、馬の制御するための馬具です。Bugじゃないです。
- ▶ 「ハーネスエンジニアリング」

AIの分野では、モデル単体に指示を出すだけでなく、自律的に動くAIの周りに「装具」を組んで制御・支援する仕組みを指します。

- ▶ **ルール（行動規範）** AIが守るべき制約やフォーマット（コーディング規約など）を明記したファイル（.claude/rules/など）。
- ▶ **スキル（手順書）** AIが再利用できる具体的な操作手順やコマンドの定義。ワークフロー
- ▶ **フィードバックループ（自己修正の仕組み）** AIが出した成果物を自動でテスト・検証し、エラーがあれば自律的に修正させるサイクル。
- ▶ **コンテキスト管理（作業メモ）** 長時間のタスクでもAIが文脈や進捗を忘れないための記憶・データ保持の仕組み。
- ▶ **ツール連携（外部接続）** 検索エンジン、データベース、APIなど、AIが問題を解決するための実行手段の提供。

開発Agentを参考に一般Agentを作る

AI開発エージェント

▶ ハーネスエンジニアリング

- ▶ ルール（行動規範）

- ▶ スキル（手順書、ワークフロー）

- ▶ コンテキスト管理（作業メモ）
ツール連携（外部接続）

- ▶ フィードバックループ（自己修正の仕組み）

▶ アーティファクトを生成

- ▶ 成果物と会話／思考の分離
- ▶ lacなど

一般的なエージェント

- ▶ 長時間タスクの自動化をする
ワークフロー

- ▶ コンテキスト管理
 - ▶ メモリ／ウィンドウの安定化

- ▶ 再帰的ループ

- ▶ モデルの使いわけ

- ▶ System1 / System2

- ▶ System2（決定論モデル）が安定させる

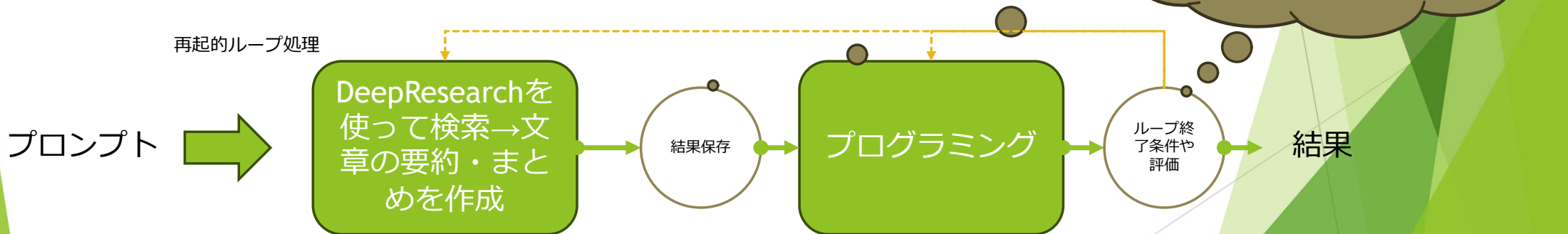
- ▶ **アーティファクトも重要**

- ▶ エージェント間の情報リレー

最近のエージェントハーネスとも呼ばれる

“Auto Research” by Andrej Karpathy

- ✓ コンテキストが長くないように圧縮や要約を行う
- ✓ Skillやワークフローを使ってAIに依頼しないタスクを作る
(繰り返し行うタスクはスクリプトやYAMLファイルで実行)
- ✓ LLM Wikiの採用
 - ✓ RAG



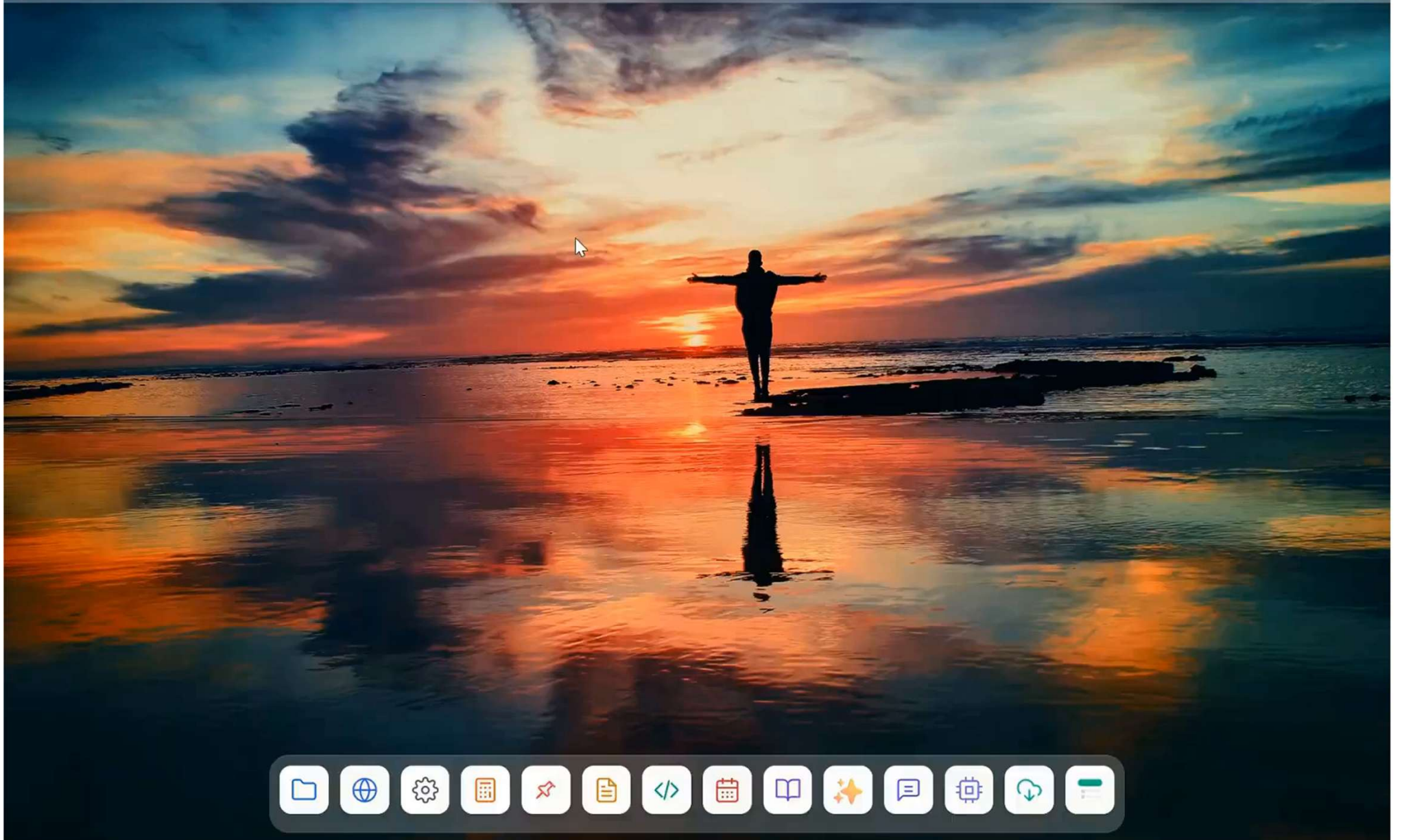
テッキーズポッド Employee Agent

- ▶ 社内でAIの活用（横展開）ができるように社内ポータルを構築してエージェントを共有する
- ▶ Employee Agentから他のAgentやMCPを利用可能にする
- ▶ 作成したタスクの結果を長期的に保存をして社内で共有できるようにする（Agent Harness）
- ▶ KnowledgeBase は LLM Wiki



非エンジニアでも
AIを使える

employee-agent は社内ポータルでもあり、
PEP/PDPを実装したAgent Harnessでもある



これからのエージェント開発（まとめ）

- ▶ エージェントにおけるハーネスの役割
 - ▶ Aiが暴れないように
 - ▶ コンテキストの制御
 - ▶ トークン節約
 - ▶ 「3日かかってもいいよ」
 - ▶ LLM Wiki（毎回、おなじ調べ物をさせない）
 - ▶ 繰り返し行うタスクはスクリプトやYAMLファイルで実行
 - ▶ 長く動かせるようにする仕組み
 - ▶ エラーからの再開機能
- ▶ モデルによって、ハーネスを内蔵し始めているので活用する

Thank You! / Q&A

ご質問や個別相談をお待ちしております。

 Official Web: www.techiespod.co.jp

 お問い合わせは Webサイトの「お問い合わせ」より

 カスタムAIモデルや開発自動化の個別相談受付中



TechiesPod | AI Agent for Future